

令和 7 年 4 月現在 本校校則は、今後も適宜見直しを行い、必要に応じて改定してまいります。
その際はホームページにてお知らせいたします。

生徒心得

北九州市立早鞆中学校
生徒指導委員会

1、制服（ア 標準服タイプ、イ スタンダードタイプ）

- ☆ 校内では左胸に学校指定の名札をつける。
- ☆ 夏服においてインナーはシャツから見えないように着ること。

ア 標準服タイプ

☆ 夏の服装

- 上 白のカッターシャツ、白の開襟シャツ、白の丸襟ブラウス、白のポロシャツを選んで着る。
ボタンダウン・丈の短いカッターシャツ、お尻が隠れるような長いポロシャツは禁止。
カッターの下でのＴシャツは、白または黒（ワンポイント入りも可とするが、大きさは名札に隠れる程度までの大きさとする）体操服も可とする。
- 下 黒ズボンまたはスカート
黒ズボンでは、白のカッターシャツ、白の開襟シャツ等はシャツを出すことは禁止する。
白のポロシャツの場合は、ズボンから出して着ることを許可する。
つりスカートでは、ポロシャツ、ブラウスでも許可するが、シャツ出しは禁止とする。

☆ 冬の服装

詰め襟タイプ

- 標準（早鞆・桜）ボタンを付ける（前５個、袖２個ずつ）。
- ベルトは、黒・紺・茶で必ず着用。ラインなど柄物は不可。
- ズボンはノータック。

セーラー服タイプ

- 赤のネクタイを付ける。長さは短くしない。（長さの目安は生徒証明書の長さ程度。）
- 袖ボタンはきちんととめる。
- スカート丈は、ひざが隠れてしまう長さ。
- 標準のベルトが必要。

イ スタンダードタイプ

☆夏の制服

- ・上・・・指定する白ポロシャツを着る。ただし、市販のものでも許可する。（市販の場合は、指定するポロシャツと同様なものに限る。（例：全白のワンポイントがないポロシャツ。裾（ポロシャツの下部）が水平にカットされているもの。）
- ・下・・・紺ズボン、スカート
- ・ポロシャツをズボン、スカートから出して着ることを許可する。ただし、お尻が隠れるほどの丈の長いシャツは禁止とする。
- ・ポロシャツの下に着るものは標準服に準ずる
- ・冬服・・・スタンダード型と標準服型を上下合わせることとはできない
- ・夏服・・・スタンダード型と標準服型を上下合わせることとはできる。
ただし、つりスカートタイプの時は、シャツを出すことはできない。

2、靴下

- ・白・黒・紺（ワンポイント・ワンライン可・くるぶしソックス可）
- ・膝が隠れるような長さは許可できない。

3、下靴（色指定はなし）

- ・運動に適したひも靴。（マジックテープも可）
- ・厚底靴、ハイカット、トレッキングシューズ、長靴などは禁止とする。

4、上履き

- ・指定されたものを使うこと。体育館シューズと上履きは兼用です。
- ・必ず記名をすること（足の甲の部分に記名欄があります）。
- ・落書きや加工などはしない。

5、防寒具

- ・手袋・マフラー・ネックウォーマー（色指定なし）・コート（黒・紺・グレー・白）の使用は登下校時、外での活動に限り許可する。
- ・防寒具（手袋・マフラー・ネックウォーマー・コート）に関しては、教室入室後には外す。
下校時は教室で着用可。（職員室入室時は着用しない。）
防寒着としてパーカーは禁止。
- ・セーラー服タイプ・・・体操服・カーディガン（黒・紺・グレー・白）・黒無地タイツ可。
行事や儀式などは、制服で参加します。
- ・スタンダードタイプ・・・防寒着は制服の下に着る。ベスト、セーター、カーディガンを着る（黒・紺・グレー・白）・黒無地タイツ可。
- ・制服の下から体操服や私服のズボンを見えたりしないようにすること。
- ・制服の中に着るもので首全体が隠れるものは許可できない。
- ・授業中寒い場合はひざ掛けをしてもよい。（大きさは３Wayバッグやサブバッグの中に入る大きさとする）
- ・防寒具として、冬の体操服を制服の上に着てもよい。（登下校中も可。）

6、所持品

- ・所持品には、必ず学年・組・氏名を書く。
- ・学習に必要なものや、貴重品などは持ってこない。不要品を持ってきた場合、一旦預かり保護者に直接返却します。
- ・健康上必要な衛生用品（日焼け止め（無香料）、薬用リップ（無色、無香料）、汗ふきシート（無香料））等は認めるが、化粧品（マニキュア、口紅、ピアス等）は許可しない。但し、衛生用品であってもスプレータイプは事故報告があるため、許可できない。

7、バッグについて

- ・基本的には３Wayバッグを使用する。
- ・サブバッグは学校指定または部活動指定を使用する。
- ・カバンに、落書き、加工はしない。
- ・キーホルダーなどのマスコットやカンバッジをつける際は、数多くせず（目安３個以内）
大きさは生徒証明書の大きさ程度とすること。
- ・授業がない行事の時などには、３Wayバッグまたは学校指定用のサブバッグで登校する。
（体育大会・文化学習発表会・社会見学など）※その際は事前に連絡をする。

8、頭髮・まゆげ

- ・中学校生活にふさわしい髪形。【学校は集団としての社会生活の場であるとともに、高校入学後の生活も見据えた髪形】
- ・例：部分的にのびしたり、部分的に短くしたりするなど極端な変形の髪型はしない。
- ・パーマ・整髪料・染髪など中学生らしい身だしなみを越えたものについては禁止。
- ・長髪については目や耳が隠れないようにする。肩にかかる場合は、後頭部にて結ぶこと。（結び方として１つ結びや２つ結びまでとする。編み込み等はしないこと。）お団子についてはヘアピンや三つ編みを使用しないようにし、ヘアゴム（黒、紺、茶）を使用すること。
- ・まゆげは整えない。
- ・かっちん止めやヘアピンについては黒、紺とする。個数については限定しないが、必要以上にしないこと。

9、登校時間、欠席、遅刻、早退について

- ・余裕を持って登校し、８時２５分までに、着席しておく。
- ・欠席・遅刻の場合は必ず保護者から、学校（担任）へ連絡してもらうこと。
- ・遅刻した場合には、直接教室へ行かず、必ず職員室に行くこと。
- ・体調不良やけがなどの早退については、学校の先生が保護者に連絡をしてから早退する。

10、自動販売機について

- ・購入する際のお金については個人で管理し、必要以上に持ってこないこと。また、金銭の貸し借りはしないこと。
- ・ペットボトルのごみは各自で持ち帰って処分すること。
- ・休み時間などに購入してもよいが、次の授業に遅れないように考えて購入すること。